

## 開園60周年月間動物企画

多摩動物公園では開園60周年にあわせ月ごとにテーマを変えてさまざまな動物にスポットをあてる月間動物企画を開催中! 10月のテーマは「アフリカの動物」。講演会ではアフリカ現地で活躍するお2人の講師にお話していただきます。アフリカの野生動物のくらしぶりとともにそこにくらす人々との関係など野生動物を取り巻く状況も紹介しアフリカに生きる動物と人について考える内容です。



東京都多摩動物公園

# アフリカに生きる 動物と人

講演会

2018  
10  
・  
27  
Sat

小学生以上1000名・事前募集【参加費無料】





# 2018年10月27日(土)

14:00-16:30 | 小学生以上100名ノ事前募集 | 参加費無料  
多摩動物公園 ウォッチングセンター1階 動物ホール

## 南部アフリカの動物と自然

講師：山形豪氏（動物写真家）



昭和49年、群馬県生まれ。少年時代を西アフリカのブルキナファソとトーゴで過ごし、サバンナの自然に慣れ親しむ。高校卒業と同時に東アフリカのタンザニアに渡り野生動物や風景の写真を撮り始める。以来25年間アフリカ各地で撮影を続けている。また、動物写真に特化したサファリツアーのガイドとしても活動中。著書に『ライオンはとてつもなく不味い』（集英社）、写真集に『From The Land of Good Hope』（風景写真出版）がある。日本写真家協会(JPS)会員。



## アフリカに生きる 動物と人

## 2 野生のアフリカゾウと共に 未来へのメッセージ 講師：中村千秋氏（アフリカゾウ研究者、酪農学園大学特任教授）

昭和33年、東京都生まれ。ミシガン州立大学大学院卒。アフリカゾウ研究者。NPO サラマンドフの会代表理事。酪農学園大学特任教授。アフリカゾウ国際保護基金客員研究員。平成元年より、東アフリカのケニアのツァボ地域を拠点に、野生のアフリカゾウと地域住民の共存をテーマに現地研究調査。現地の女性たちの会へのボランティア支援活動を20年以上継続。専攻はワイルドライフ・マネージメント、自然保護学、栄養学、環境社会学、環境思想。著書に『アフリカで象と暮らす』（文藝春秋社）、『アフリカゾウから地球への伝言』（富山房インターナショナル）。



**応募方法** 往復はがき、またはEメールで以下のとおりお申し込みください。  
応募者多数の場合は抽選を行い、当落にかかわらずお知らせします。

### ■往復はがき 10月15日(月)必着

往復信に参加希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を記入し、返信面に代表者の住所・氏名を明記のうえ、以下の宛先までお申し込みください。

【あて先】〒191-0042 日野市程久保7-1-1 多摩動物公園「アフリカの動物講演会」係

### ■eメール 10月15日(月)送信分まで有効

africa2018@tokyo-zoo.net 宛に、件名を「アフリカの動物講演会参加希望」とし、本文に参加希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送りください。

●お申し込みの際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。特に携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。

●9月13日(木)から募集を開始し、先着順とします。

締切前に定員に達した場合は、多摩動物公園ホームページ  
(東京ズーネット <http://www.tokyo-zoo.net/zoo/tama/>)でお知らせします。



## 東京都多摩動物公園

【開園時間】 9時30分～17時(入園は16時まで)

【休園日】 毎週水曜日(祝日や都民の日にあたるときは翌日)

【入園料】 一般600円/65歳以上300円/中学生200円

\*小学生以下および都内在住、在学の中学生は無料

【お問合せ】 東京都日野市程久保7-1-1

TEL:042-591-1611(代)

【URL】 <http://www.tokyo-zoo.net/>



動物取扱業者の名称：公益財団法人東京動物園協会 多摩動物公園  
展示 16 東京都展第 100646 号(平成19年3月15日～平成34年3月14日)  
動物取扱責任者：坂本弘